

平成 21 年 3 月 10 日
経 済 産 業 省

消費生活用製品の重大製品事故に係る公表について

消費生活用製品安全法第 35 条第 1 項の規定に基づき報告のあった重大製品事故について、以下のとおり公表します。

1. ガス機器・石油機器に関する事故 5 件
(うち石油ストーブ(開放式) 1 件、ガスこんろ(都市ガス用) 1 件、
石油ふろがま 1 件、石油赤外線暖房機 1 件、石油温風暖房機(開放式) 1 件)
2. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、
製品起因が疑われる事故 3 件
(うち電気ストーブ(ハロゲンヒーター) 2 件、電子レンジ加熱式湯たんぽ 1 件)
3. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、
製品起因か否かが特定できていない事故 5 件
(うち湯たんぽ用カバー 1 件、電気ストーブ(ハロゲンヒーター) 1 件、
自転車 1 件、電動車いす(ハンドル形) 1 件、電動アシスト自転車 1 件)
4. 製品起因による事故ではないと考えられ、今後、第三者判定委員会において、
審議を予定している案件 0 件

※詳細は別紙のとおりです。

5. 留意事項
本公表内容については、速報段階のものであり、今後の追加情報、事故調査の進展等により、変更又は削除される可能性があります。
6. 特記事項
(1) 株式会社長府製作所が製造した石油ふろがま(管理番号 A200801327)
(事業者は、石油ふろがま及び追焚付石油給湯器として告知)
① 事故事象及び再発防止策について
株式会社長府製作所製石油給湯機付ふろがまにおいて、機器の修理や点検の際に使用する点検用コネクター(空焚き防止装置を働かせないようにし、他の装置の作動点検をするもの)を修理・点検後に外し忘れたため、誤って浴槽に水がない状態で空焚き運転を行った場合に、空焚き防止装置が作動せずに、火災事故及び本体焼

損事故が発生しております。

このため、同社は、点検用コネクターが付属されている全ての機種について、平成19年7月28日に新聞社告を掲載し、注意喚起を行うとともに、販売店・サービス店を通じ、チラシやポスターによる改修の呼びかけを行う等、対象製品について無償点検・改修を実施しています。

改修対象台数 792,967台

改修率 20.1% (平成21年2月28日現在)

②対象機種等

品 目	機 種 名	製 造 期 間	対象台数
石油ふろがま	JK、JK2、JK-N ※ (バーナー型式：BM-71K、BM-71KT) (セット型式：JPK、JPS-T、JPK-N)	昭和59年7月～ 平成3年9月	243,420
	JPS-T3、JPK-N3	平成3年8月～ 平成13年9月	257,603
	CK-8、CK-8E	昭和60年1月～ 平成4年5月	23,815
	CK-9、CK-9E	昭和60年11月～ 昭和62年7年	3,840
	CK-10、CK-10S	昭和61年12月～ 平成13年9月	54,181
	CK-11、CK-11S	昭和62年4月～ 平成11年10月	111,085
	小 計		693,944
追焚付石油給湯器	JIB-T	昭和59年11月～ 昭和63年1月	3,150
	JIB-2T	昭和59年10月～ 昭和63年7月	9,093
	JIB-4	昭和58年4月～ 昭和59年8月	4,323
	JIB-5、JIB-5E、JIB-5S、JIB-5SE	昭和58年11月～ 昭和61年7月	12,990
	JIB-6N、JIB-6NE、JIB-6NEG、 JIB-6NS、JIB-6NSG、JIB-6EA、 JIB-6EAG、JIB-6SA、JIB-6SAG	昭和61年3月～ 昭和63年4月	30,333
	JIB-7EG、JIB-7S、JIB-7SAG、 JIB-7SG	昭和62年12月～ 平成3年12月	39,134
	小 計		99,023
合 計			792,967

※ 印の型式については、機器本体に表示がされており、別途、バーナー部には、バーナー型式名、取扱説明書には、セット型式が表示されています。

③消費者への注意喚起

該当機種の製品を使用している消費者の方々におかれましては、浴槽に水があることを確認して使用していただくとともに、早急に、株式会社長府製作所が設ける下記のフリーダイヤルにご連絡ください。

(株式会社長府製作所の問い合わせ先)

フリーダイヤル：０１２０－９１１－８７０

受付時間：９時～１８時（土・日・祝日を除く）

ホームページ：<http://www.chofu.co.jp/>

(2) 大宇電子ジャパン株式会社が輸入した電気ストーブ（ハロゲンヒーター）

（管理番号A200801319、A200801324）

①事故事象及び再発防止策について

当該製品の強弱切替えに使用している部品（ダイオード）に不具合が発生し、同部品が発熱し、発煙・発火に至ったと思われる事故が起こっています。

輸入事業者である大宇電子ジャパン株式会社では、平成１５年２月２８日及び平成１９年３月１日に新聞社告を掲載し、注意喚起を行うとともに、対象製品の無償改修を実施しています。

②対象製品について

型 式 S D - 8 0 G

販売時期 平成１４年１０月～平成１５年２月

改修対象台数 ８０，３１７台

改修率 ４０．３％（平成２１年１月３１日現在）

③消費者への注意喚起

上記対象製品をお持ちになっている方で、まだ輸入事業者の行う改修を受けておられない方は、下記問い合わせ先に速やかにご連絡ください。

(大宇電子ジャパン株式会社の問い合わせ先)

フリーダイヤル：０１２０－８８－２０７６

受付時間：午前１０時～午後５時（土・日・祝日を除く）

(3) 旭電化工業株式会社（現（株）A D E K A）製電子レンジ加熱式湯たんぽ

（管理番号A200801326）

①事故事象及び再発防止策について

本体及び取扱説明書に十分な注意表示がないために、当該製品を電子レンジで加熱し過ぎ、加熱後に容器が破損し、中身の高温の液体が飛散し、火傷を負う事故が多発したため、製造事業者である株式会社A D E K Aでは、平成１１年１１月に新聞社告等を行い、注意喚起を行うとともに、O E M製品を含む対象製品について、回収を実施しています。また、同社は、平成２０年１２月に再度の社告を行うとともに、

農協や消費生活センターへポスターを配布して、回収を呼びかけています。

②対象製品等

製品名	販売元	製造期間	対象個数
夢暖	(株) ADEKA	平成6年11月～ 平成10年12月	51,651個
安眠物語	(株) バイオスインコーポレーション		
あったまりーな	山基物産(株)		
レンジで湯たんぽ	ピップトウキョウ		
チビ暖くん	(株)		

回収対象台数 51,651個

回収率 47.4% (平成21年3月4日現在)

③消費者への注意喚起

当該製品をお持ちの消費者は、製品のご使用を中止していただき、製造事業者の設ける下記フリーダイヤルに速やかにご連絡ください。

なお、回収対象製品には、(株) バイオスインコーポレーションブランドのほか、旭電化工業(株)ブランド、ピップトウキョウ(株)ブランド、山基物産(株)ブランドの製品もあります。

(株式会社ADEKAの問い合わせ先)

フリーダイヤル：0120-963-240

受付時間：午前9時～12時／午後1時～5時（土・日・祝日を除く）

ホームページ：<http://www.adk.co.jp/news/2008/081010yu.html>

(本発表資料の問い合わせ先)

商務流通グループ製品安全課製品事故対策室

担当：横田、服部、鈴木

電話：03-3501-1707(直通)